

“企業インターン”ワークを体験した先生方、生徒たちの感想です。

授業での様子や、この体験をきっかけに得られた力、身についたことなど、実際に教室でお聞きした声をご紹介します。

● 先生の声 ● 生徒の声

先生 届ける先が教員ではなく“本物の企業の人”なので、生徒たちのモチベーションは普段の授業と違った非常に高いものでした。

先生 チームを組んで、何度も課題を与えられ、プレゼンする機会が豊富だったのがよかった。ひとりでなく仲間と一緒に、正解のないことを追及してやり遂げた経験は、大きな自信になったようでした。やるたびに、自然とチームで相談し合っ作業を進めるようになったし、驚くほどプレゼンがうまくなって、最後には自分たち自身のことばでアドリブを交えて伝えられるようになったのはすごかった。

生徒 チームで考えた意見をまとめて、相手にわかってもらうように伝えることはとても大変なことなんだとわかりました。それを知っているのは、働くときにも役に立つことだと思います。

生徒 ひとりではできないことが仲間がいることで可能になることを知った。この経験は必ず今後の人生で力になると思う。

生徒 普段私たちが使っている商品は、会社で働く人が時間と手間をかけて、よく考えられて生み出されていることに気づいた。仕事ってすごいなと思いました。

先生 おとなしい生徒が他のチームの発表にコメントしたとき、「お前なかなかいいこと言うな」と称賛されて、とても嬉しそうだった。そのあと、その生徒の授業態度が変わりました。

先生 人前で発表できなかった生徒が、たどたどしいながらも発表する。それだけでもその生徒にとって大きな成果であると知りました。

生徒 チームで協力してたくさんのができた。何か問題が起こったとき、相手が悪いのだと思うのではなく、すべては自分に原因があるのだと思いました。

先生 チームの事項紹介後に指令が届くなど、生徒たちを飽きさせない仕掛けがあり、意欲を継続できる流れになっていました。



TWICE PLAN COMPANY 01

“企業インターン”ワーク

「もしも企業に勤めたら!？」
——日本を代表する企業に学ぶ“企業インターン体験”

日本を代表する企業のインターンとして、企業の課題に取り組むワークです。

チームをつくり、インターン先企業を選んで、その会社の一員として企業のリアルな課題解決に取り組みます。

【身につく力】

職業理解、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力、進路意識の向上



TWICE PLAN

お問い合わせ

株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュート
〒105-0015 東京都中央区日本橋箱崎町1-11-804
Tel 03-6861-3553 / Fax 03-6861-3554
Mail info@twiceresearch.jp
URL <https://twiceresearch.jp>



program.twiceplan.jp

“企業インターン”ワーク

実在の企業の課題解決で力をつける

ほんものの企業から“インターン”に出される課題は、簡単なものから本格的なものへと進化。最初の自己紹介からはじまって、課題解決の結果を伝える2回のプレゼン。

企業にチームの意見を発信し、仕事で社会とつながる実感を得ながら、自分自身の中にさまざまな力を見つけていきます。

2



自己紹介、「指令1」

企業へのはじめの挨拶は仕事の第一歩

チームごとにインターン先の担当者に向けて、ビデオレターで自己紹介。インターンとしての活動の抱負などを伝えます。それに続いて、企業から最初の課題「指令1」を受け取ります。



1



チームづくり、企業選び

ひとりでなく、チームで取り組むのは楽しい

3~5人のチームを結成し、リーダーを決めて、チーム名や意気込みを考えます。そして、チームで相談してインターン先となる企業を選択します。



3

ミニ・プレゼン、「指令2」を受け取る

まずはチームで腕試し!

「指令1」に対するチームの回答を、各企業の担当者に向けてプレゼンテーションします。発表後、企業から本格的な課題として、「指令2」を受け取ります。



4



本格指令、プロジェクト始動

自由に考えたことをひとつにまとめるのが醍醐味

指令達成のため、アイデアを出し合ったり、アンケートなどのフィールドワークに取り組んだり、繰り返し会社や取り扱っている商品をリサーチしたりと、チーム全員で協力しながら回答を組み立てていきます。



5



リハーサル、プレゼンテーション

チームの成果を伝え切る

チームごとに本番を想定したりリハーサルをし、最後の最後まで話し合いながら磨きをかけ、提案を仕上げます。本格指令に対する回答のプレゼンテーションは、みんなで審査をして“グランプリ”も決めます。



6

振り返り

振り返ることで、体験がさらに深まっていく

これまでのワークを振り返って、チームでディスカッションします。最後はひとりひとりレポートを書いて終了です。



ワークの流れ

12のステップにそって進行します。チームをつくり、まず初歩的な課題、次に本格的な課題に挑戦し、プレゼンテーション。最後に活動を振り返ります。取り組み時間は学校の状況に合わせて柔軟に設定することが可能です。

(※1ステップの目安は最少45分です)

“企業インターン”ワーク

- 1 最初の準備
- 2 最初の指令
- 3 ミニ・プレゼン
- 4 本格指令
- 5 リサーチ&ディスカッション①
- 6 リサーチ&ディスカッション②
- 7 回答の組み立て①
- 8 回答の組み立て②
- 9 リハーサルとブラッシュアップ
- 10 プレゼン本番!①
- 11 プレゼン本番!②
- 12 振り返り

企業にとっても本気の指令

企業にとっても本気で注力していること、問題として解決したいことが課題として出されます。企業も答えを持たず、生徒たちの柔軟なアイデアを求めています。その提案は、企業で実際に採用される可能性もあります。

